

東京アマデウス合唱団

第41回定期演奏会



2023年 10月 8日(日)

18:00開演

同仁キリスト教会礼拝堂

プログラム

《第1ステージ》

Heinrich Schütz (1585-1672)

ハインリヒ・シュッツ

Ein Kind ist uns geboren, SWV302

Jubilate Deo, SWV332

Was betrübst du dich, meine Seele, SWV335

Meine Seele erhebt den Herren, SWV426

～ 休憩 ～

《第2ステージ》

Dieterich Buxtehude (1637-1707)

ディーテリヒ・ブクステフーデ

Das neugebor'ne Kindelein, BuxWV13

Alles, was ihr tut, BuxWV4

Magnificat anima mea Dominum, BuxWV Anhang1

(選曲 辻村 順子)

ご挨拶

本日は、東京アマデウス合唱団第41回定期演奏会にご来場くださり、誠にありがとうございます。

本日演奏いたしますシュッツとブクステフーデは、前期ドイツ・バロックを代表する作曲家です。私たちはこれまで幾度と無く取り上げ、合唱団の重要なレパートリーとなっております。

合唱団名が示す様に、当初はモーツァルトを取り上げることが多かったのですが、いつしか人数が減り、少人数で歌えるルネッサンスやバロックの曲へと移ってきました。

少人数ゆえの選曲ですが、一人一人の力量、責任の占める割は大きく、水野先生の根気強い熱意あるご指導のもと各自が努力を積み重ね、今日に繋げてまいりました。

合唱団を継続させるためには困難な事もありますが、団員の協力と、いつも応援して下さる皆様方の暖かいご支援と励ましがあって続けられることに感謝いたします。

本日は、オーケストラの皆様の素晴らしい演奏に助けていただき、水野先生の指揮に導かれ、皆様にバロックの美しい響きをお届けしたいと思います。

どうぞ、最後までごゆっくりとお楽しみください。

東京アマデウス合唱団
団長 大久保 ルミ子



プロフィール

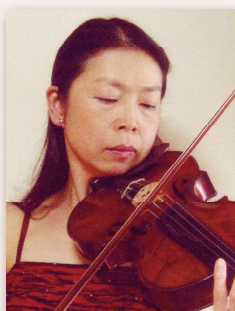


指揮 水野 克彦

東京藝術大学卒業。クラリネット専攻。在学中は藝大バッハ・カンタータ・クラブに在籍し、小林道夫氏の薫陶のもとにバッハの教会音楽作品を研究した。卒業後はクラリネット奏者としてオーケストラ、室内楽等の演奏にたずさわったが、しだいに十代の頃から親しんできた合唱音楽や教会音楽へ傾倒するようになり、ピアノ伴奏者および通奏低音奏者としてこの分野に参加することが多くなった。現在は指揮者としてアマチュア合唱団の指導に力を注ぎ、オルガン演奏もライフワークとして取り組んでいる。

日本オルガニスト協会会員。日本オルガン研究会会員。茗荷谷キリスト教会オルガニスト。

Symphonia Fons Harmoniae



ヴァイオリンⅠ 海保 あけみ

東京藝術大学卒業。ヴァイオリンを正岡紘子、山岡耕祐、日高毅の各氏に、室内楽を黒沼俊夫氏に師事。又、藝大バッハカンタータクラブにて小林道夫氏の指導を受ける。

現在フリーの演奏家として、室内楽・オーケストラ等の演奏を中心に活動中。



ヴァイオリンⅡ 片桐 恵里

東京藝術大学卒業。同大学院修了。埼玉県新人演奏会に出演。

ヴァイオリンを掛谷洋三、浦川宜也、室内楽をピュイグ・ロジェ、ルイ・グレーラーの各氏に師事。

室内楽を中心に活動している。



ヴィオラⅠ 深沢 美奈

東京芸術大学を経て同大学院を修了。モダンとバロックのオーケストラ、室内楽奏者として活動中。モダンヴァイオリンを中馬敬子、浦川宜也の各氏に師事。モダンヴィオラを河合訓子、菅沼準二の各氏に師事。バロックヴィオラを若松夏美、森田芳子各氏に師事。ヴィオラ・ダ・ガンバを福澤宏氏に師事。バロックでは「バッハ・コレギウム・ジャパン」等に参加。



ヴィオラII、ヴァイオリンIII 三輪 真樹

東京藝術大学卒業。ヴァイオリンを恵藤久美子、海野義雄、原田幸一郎の各氏に師事。ザルツブルグ講習会で室内楽をJ.フルニエ氏に師事。トロンハイム古楽講習会でバロック・ヴァイオリンをC.マッキントッシュ氏に師事。

「古典四重奏団」ヴィオラ奏者として、村松賞、文化庁芸術祭演奏部門大賞、同CD部門大賞、同演奏部門優秀賞、ENEOS音楽賞(旧モービル音楽賞)奨励賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞、レコードアカデミー大賞各賞受賞。



チェロ 伊藤 恵以子

東京芸術大学、同大学院博士課程修了。パリ エコール・ノルマルで学ぶ。チェロを三木敬之、R.フラシヨー、倉田澄子の各氏に師事。日本音楽コンクール入選。ピアノやハープを含む室内楽、モダンとバロック楽器両方での合奏、バロック宗教曲の通奏低音など、様々な演奏活動を行っている。訳書に「ポール・トルトゥリエ チェリストの自画像」がある。



ヴィオローネ(コントラバス) 栗田 涼子

東京藝術大学を経て同大学院修了。オーケストラや室内楽、録音などの演奏に出演している。2019年2月たかまつ国際古楽祭にてCapriora di joiaのアンサンブルに参加。7月バロックヴァイオリニストDavide Monti氏による即興演奏会に参加。11月台湾にてバロックヴァイオリニストAnton Steck指揮Essential Sound Baroque Ensembleの演奏会に参加。



オルガン 平野 智美

東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁特別派遣芸術家在外研修員としてイギリスに派遣され研鑽を積む。第13回国際古楽コンクール<山梨>最高位受賞。日演連オーディションに合格し、東京文化会館にて室内楽リサイタルを開催。文化庁新進芸術家公演事業「ニューアーティストシリーズ2005」に選出される。2016～2018年、国立音楽大学非常勤講師。ゴジマ録音より、ソロCD「<1685>後期バロックの3巨匠」(音楽現代推薦盤)、今年5月「バッハ×ピアソラ」(レコード芸術準特選盤)リリース。ハイニヘン「新しい通奏低音奏法」翻訳書(道和書院)にて、リアリゼーションを担当するなど幅広く活動する。

プログラム・ノート

辻村 順子

ハインリヒ・シュッツ Heinrich Schütz

J.S.バッハのちょうど100年前の1585年10月8日頃にケストリッツで生まれ、1672年11月6日にドレスデンで没す。17世紀のドイツで最も偉大な作曲家。

2度のヴェネツィア留学後、主にドレスデンで活躍。現存する作品は500曲を数え、その大半は聖書を題材とした宗教的声楽曲で、歌詞の大半はドイツ語で書かれている。

Ein Kind ist uns geboren, SWV302 は、1636年にライプツィヒで出版された小宗教コンチェルト集第1巻 Erster Theil kleiner geistlichen Concerten Op.8(SWV282-305)に収められている。歌詞はドイツ語。テキストは旧約聖書のイザヤ書9章 5-6節に基づく。

ソプラノ、アルト、テノール、バスとコンティヌオ

Jubilate Deo omnis terra, SWV332 は、1639年にドレスデンで出版された小宗教コンチェルト集第2巻 Anderer Theil kleiner geistlichen Concerten Op.9(SWV306-337)に収められている。歌詞はラテン語。テキストはウルガタ訳聖書の詩篇99(新共同訳聖書では100)に基づく。

ソプラノ、アルト、テノール、バスとコンティヌオ

Was betrübst du dich meine Seele, SWV335 も同じ曲集に収められている。歌詞はドイツ語。

テキストは旧約聖書の詩篇42の12節と43の5節。

2声のソプラノ、アルト、テノール、バスとコンティヌオ

Meine Seele erhebt den Herren (Das deutsche Magnificat), SWV426 は、1657年にドレスデンで出版された12の教会聖歌集 Zwölf geistliche Gesänge, Op.13 に収められている。テキストは、ルカ福音書1章47-55節のマリアの讃歌 Magnificat に頌栄を添えたもの。

ソプラノ、アルト、テノール、バスとコンティヌオ

シュッツはドイツ語によるMagnificatを、この曲の他にもSWV344とSWV494の2曲、そしてラテン語のMagnificat, SWV468 も作曲している。

ディーテリヒ・ブクステフーデ Dieterich Buxtehude

生年・生地ははっきりしないが、1637年頃、当時デンマーク領であったオルデスローで生まれたと思われる。1707年5月9日にリューベックで没。シュッツに次いで中期ドイツ・バロック音楽の最も重要な作曲家。

1668年以降、リューベックの聖マリア教会で、亡くなるまでの40年近くオルガニストを務める。オルガン曲、宗教的声楽曲を多く書いていて、その殆どがプロテスタント教会のためのものである。

Das neugebor'ne Kindelein, BuxWV 13

降誕節後第1主日のために作曲されたと考えられる。歌詞はCyriacus Schneegass(1546-1597)。

ソプラノ、アルト、テノール、バスと、3つのヴァイオリン、ヴィオローネ、コンティヌオ

Alles, was ihr tut mit Worten oder mit Werken, BuxWV 4

第2楽章と最終楽章のテキストは、聖書のコロサイ人への手紙3章17節。第5楽章は聖書の詩篇37の4節。第6楽章のコラールは、ゲオルク・ニーゲ Georg Niede(1525-1589)作詩の聖歌による。旋律は1598年に発行された Geistlich Eislebenに載るものを用いている。

ソプラノ、アルト、テノール、バスと2つのヴァイオリン、2つのヴィオラ、ヴィオローネ、コンティヌオ

Magnificat, BuxWV Anhang 1

テキストはルカによる福音書1章47-55節。曲の成立年代は1674年以前と思われるが、作者がブクステフーデかどうかは疑わしい。

2声のソプラノ、アルト、テノール、バスと2つのヴァイオリン、2つのヴィオラ、ヴィオローネ、コンティヌオ

このラテン語のマグニフィカトと、本日のプログラム前半のシュッツのドイツ語マグニフィカトは同じ内容なので、興味のある方は歌詞を見比べてみるのも面白いかもしれない。

歌詞対訳

ハインリヒ・シュッツ Heinrich Schütz

二木 一元

Ein Kind ist uns geboren, SWV302

Ein Kind ist uns geboren,
Ein Sohn ist uns gegeben.
welches Herrschaft ist auf seiner Schulter
und er heißt Wunderbar, Rat, Kraft, Held,
Ewigvater, Friedefürst,
auf daß seine Herrschaft groß werde und des Friedens kein Ende
auf dem Stuhle David und seinem Königreiche,
daß ers zurichte und stärke mit Gericht und Gerechtigkeit
von nun an bis in Ewigkeit,
Solches wird tun der Eifer des Herren Zebaoth.

ひとりのみどり子が私たちに生まれた。
ひとりの御子が私たちに与えられた。
その権威は彼の肩の上にある
彼の名は驚き、とりなし、力、勇士、
永遠なる父、平和の君。
ダヴィデの王座と彼の王国の上で権威が大きくなり、
平和に終わりが来ないためである。
そのために、今よりとこしえに彼は審判と正義を以て
それを整え強める
それをを行うのは万軍の主の熱い思いであろう。

Jubilate Deo, SWV332

Jubilate Deo omnis terra,
servite Domino in laetitia,
Introite in conspectu ejus in exultatione,
scitote, quoniam Dominus ipse est Deus,
ipse fecit nos, et non ipsi nos,
populus ejus et oves pascuae ejus,
Introite portas ejus in confessione,
atria ejus, in hymnis confitemini illi,
Laudate nomen ejus,
Quoniam suavis est Dominus in aeternum misericordia ejus,
Et usque in generationem et generationem veritas ejus.

全地よ、神に歓呼せよ、
喜んで主に仕えよ、
主の目の届くところで歓呼して入れ、
知っていよ、主こそは神であるので、
自ら私たちを造り、また私たち自体ではなく、
私たちが主の民、主の牧場の羊であることを、
告白しつつ主の門に入り、
主の前庭に至れ、賛美してあの方に告白せよ、
主の御名をほめたたえよ、
なぜなら、主はその慈愛という点で永遠に麗しく、
主の真理は世々絶えることがないからである。

Was betrübst du dich, meine Seele, SWV335

Was betrübst du dich, meine Seele,
und bist so unruhig in mir?
Harre auf Gott,
denn ich werde ihm noch danken,
dass er meines Angesichtes Hilfe
und mein Gott ist.

私の魂よ、何故お前は私の中で悲しむのか、
そしてそのように動揺しているのか。
神を待ち望め、
私もいずれ彼に感謝することになるのだから。
彼が私に御顔を向けて助けてくれることを、
そして私の神であることを。

Meine Seele erhebt den Herren, SWV426

Meine Seele erhebt den Herren,
und mein Geist freuet sich Gottes,
meines Heilandes.
Denn er hat seine elende Magd angesehen.
Siehe, von nun an werden mich selig preisen alle Kindeskind.
Denn er hat große Ding an mir getan,
der da mächtig ist,
und des Name heilig ist.
Und seine Barmherzigkeit währet immer für
und für bei denen, die ihn fürchten.
Er übet Gewalt mit seinem Arm;
er zerstreuet, die hoffärtig sind in ihres Herzens Sinn.
Er stößet die Gewaltigen vom Stuhl,
und erhöhet die Niedrigen.
Die Hungerigen füllet er mit Gütern
und läßt die Reichen leer.
Er denket der Barmherzigkeit und hilft seinem
Diener Israel auf, wie er geredt hat unsern
Vätern, Abraham und seinem Samen ewiglich.
Ehre sei dem Vater und dem Sohn und auch dem Heiligen Geiste,
wie es war im Anfang, jetzt und immerdar
und von Ewigkeit zu Ewigkeit, Amen

私の魂は主を崇め、
私の霊は私の救い主である
神を喜びます。
主はその悲惨な端女に目を留めてくれたからです。
さあ、今から後すべての子の子は私を幸いな者と称えるでしょう。
主は私に大きな事をしてくれたからです。
主は実に力があり、
名において神聖な方です。
そして主の憐れみは常にいつまでも
主を畏れる者のもとで続きます。
主はその腕で力を振るい
心の思いにおいて傲慢な者を追い散らし
権力のある者をその座から引き下ろし
低い者を高く上げ
飢えた者を良いもので満たし
富める人を空しくします。
主は憐れみを覚えていて、その僕である
イスラエルを救い出してくれます。私たちの父祖
アブラハムとその子孫に対して永遠にと語ったごとく。
父と子とそしてまた聖霊に栄光あれ、
初めに在ったように、今もいつまでも
そしてとこしえに、アーメン

ディーテリヒ・ブクステフーデ Dieterich Buxtehude

Das neugebor'ne Kindelein, BuxWV13

Das neugebor'ne Kindelein,
das herzeliebe Jesulein
bringt abermal ein neues Jahr
der auserwählten Christen Schar.
Des freuen sich die Engelein,
die gerne um und bei uns sein,
und singen in den Lüften frei,
daß Gott mit uns versöhnet sei.
Ist Gott versöhnt und unser Freund,
was kann uns tun der arge Feind?
Trotz Teufel, Welt und Höllenpfort!
Das Jesulein ist unser Hort!
Es bringt das rechte Jubeljahr,
was trauern wir dann immerdar?
Frisch auf, es ist jetzt Singenszeit:
das Jesulein wend't alles Leid.

生まれたてのみどり児、
いとおいしいイエスは
選び出されたキリスト者の一団に
また、新しい一年をもたらす
天使たちはそれを喜び
快く私たちの傍らで私たちを囲んでいる
そして、自由な空間に漂いながら歌う
神は私たちと和合していると
神が和合し、私たちの味方であるのなら
よこしまな敵は私たちに何ができようか
イエスは、悪魔、俗世、地獄の門に対抗する
私たちの守護者である。
本当のヨペルの年がもたらされる
であれば、私たちはいつまでも何を嘆いているのか
刷新せよ、今や賛歌を歌う時
イエスはすべての苦しみを喜びに変えてくれる

二木 一元

Alles, was ihr tut, BuxWV4

1.Sonata

2.Concerto

Alles, was ihr tut, mit Worten oder mit Werken,
das tut alles im Namen Jesu,
und danket Gott und dem Vater durch ihn.

3.Sonata

4.Aria

(1)

Dir, Höchster, dir alleine alles,
Allerhöchster, dir, Sinne, Kräfte und Begier
ich nur aufzuopfern meine.
Alles sei nach aller Pflicht
nur zu deinem Preis gericht't.

(2)

Helft mir spielen, jauchzen, singen,
hebt die Herzen himmeln,
jubele, was jubeln kann,
laßt all' Instrumente klingen.
Alles sei nach aller Pflicht
nur zu deinem Preis gericht't.

(3)

Vater, hilf um Jesu willen,
laß das Loben löblich sein
und zum Himmel dringen ein,
unser Wünschen zu erfüllen,
daß dein Herz nach Vaterspflicht
sei zu unserm Heil gericht't.

5.Arioso

Habe deine Lust am Herrn,
der wird dir geben, was dein Herz wünscht.

1.ソナタ

2.コンチェルト

言葉であれ行動であれ、それによって君たちが行う事が何であろうと、
すべてイエスの御名のもとに行いなさい、
そしてイエスを通して父なる神に感謝しなさい。

3.ソナタ

4.アリア

(1)

あなたに、至高者よ、あらゆる者のうちであなただけに、
至高の神よ、あなたに、私はただ五感、力および熱意を
捧げようと思っているだけなのです。
あらゆる事が、あらゆる務めに応じて、
ただあなたの賛美に向けられますように。

(2)

私と共に演じ、歓呼し、歌いなさい。
心を天上に引きあげなさい。
喜べることは喜びなさい。
あらゆる楽器を鳴り響かせなさい。
あらゆる事が、あらゆる務めに応じて、
ただあなたの賛美に向けられますように。

(3)

父よ、イエスのゆえに助けてください。
讚美が賞賛に値するものとして
天上に入るようにしてください。
それは私たちの願いを叶えるためです。
あなたの心が父の勤めに応じて
私たちの救いに向けられますようにという願いを。

5.アリオソ

主を喜びなさい、
主は君の心が望むものを君に与えてくれる。

二木 一元

6.Choral
Sopran-Solo
Gott will ich lassen raten,
denn er all Ding vermag;
er segne meine Taten,
mein Vornehmen und Sach.
Ihm hab' ich heimgestellt,
mein' Leib, mein' Seel, mein Leben,
und was er sonst gegeben;
er mach's, wie's ihm gefällt.

Coro
Darauf so sprech ich Amen
und zweifle nicht daran:
Gott wird es all's zusammen ihm
wohlgefallen lan;
und streck nun aus mein' Hand,
greif an das Werk mit Freuden,
dazu mich Gott bescheiden
in mein'm Beruf und Stand.

7.Sonata

8.Concerto
Alles, was ihr tut, mit Worten oder mit Werken,
das tut alles im Namen Jesu,
und danket Gott und dem Vater durch ihn.

6.コラール
ソプラノ・ソロ
私は神に助言してもらうつもりです、
神はあらゆる事柄を成し遂げるからです。
神が私の行い、
私の取組や用件を祝福してくれますように。
私は、神に委ねました
私の身も、私の心も、私の生命も、
そして神が与えてくれたその他のものも。
神が御心に叶うように事を運びますように。

合唱
だから、それについて私ははっきりと言います。
それを疑うことはありません。
神はあらゆる者が共に
神の御心に叶うように取り図るでしょう。
そして私は自分の手を伸ばして、
喜んで仕事に取り掛かります、
それに対し神は私を召命するでしょう
私の天職と天分に於いて。

7.ソナタ

8.コンチェルト
言葉であれ行動であれ、それによって君たちが行う事が何であれ、
すべてイエスの名のもとに行いなさい、
そしてイエスを通して父なる神に感謝しなさい。

Magnificat anima mea Dominum, BuxWV Anhang 1

水野 克彦

1.Ritornello

2.
Magnificat anima mea Dominum,
et exultavit spiritus meus
in Deo salutari meo.
Quia respexit humilitatem ancillae suae;
ecce enim ex hoc beatam me dicent
omnes generationes.
Quia fecit mihi magna, qui potens est,
et sanctum nomen ejus,
et misericordia ejus a progenie in progenies
timentibus eum.

3.Ritornello

4.
Fecit potentiam in brachio suo,
dispersit superbos mente cordis sui.
Deposuit potentes de sede,
et exaltavit humiles.
Esurientes implevit bonis,
et divites dimisit inanes.
Suscepit Israel puerum suum
recordatus misericordiae suae.
Sicut locutus est ad patres nostros,
Abraham et semini ejus in saecula.

5.Ritornello

6.Doxologie
Gloria Patri, et Filio, et spiritui sancto.
Sicut erat in principio et nunc et semper,
et in saecula saeculorum, Amen.

1.リトルネッロ

2.
私の魂は主を崇め、
私の霊は躍り上がって喜んでしまっています、
我が救いの神様のふとこで。
なぜなら御自分ののはしための卑しさを顧みてくださっているからです。
ご覧なさい、今から私のことを祝福された女だと言うことでしょう、
すべての世代の人々が。
なぜなら力ある御方が偉大なさまざまな御業を私になさっているからです。
そしてその御方の御名は神聖です。
そして神様の憐れみは子女孫々に渡って
神を畏れる者たちにおよびます。

3.リトルネッロ

4.
神様は御自身の腕に宿る力をふるい、
自らの心の思いによって高慢になった子どもを散らされているからです。
神様は力に頼む子どもをその座から引きずり降ろし、
身分の卑しい人々を高められています。
神様は飢えている人々を良い物らで満ち足らせ、
富める子どもは手ぶらのままに追い出してしまわれています。
神様は御自身のしもべ、イスラエルを支え、
御自身の憐れみの内に覚えてくださっています。
神様が私たちの先祖にお告げになっているとおり、
アブラハムとその子孫へ代々に渡って。

5.リトルネッロ

6.頌栄
父に栄光、子に栄光、そして聖霊に栄光。
はじめにあったとおり、今も、常に、
代々限りなく。アーメン。

合唱団プロフィール



東京アマデウス合唱団

1980年にモーツァルトのレクイエムを歌う目的で結成。2000年頃よりドイツ・ルネサンス、バロック時代を中心とした宗教曲を少人数で演奏する方向へと活動方針を転換。緻密なアンサンブルと豊かな音楽表現を目指して努力しています。

ソプラノ	辻村 順子	中西亜紀子	平石 幸枝		
アルト	大久保レミ子	大友 美佐	佐藤由紀子	濱野美保子	堀江 和子
テノール	寺尾 敏康	二木 一元			
バス	椎野 隆志	中西 宏年	中村 直利	野口 徹	

最近の公演記録

	開催年月	主な演奏曲目・作曲家	指揮	会場
第31回	2012.10	シュツツ、ブクステフーデ(メンブラ・イエズ・ノストリ)	水野克彦	同仁キリスト教会
第32回	2013.12	16～17世紀のクリスマスと新年の名曲	水野克彦	同仁キリスト教会
第33回	2014.11	シュツツ(ムジカリッシェ・エクゼクイエンほか)	水野克彦	同仁キリスト教会
第34回	2015.11	トーマスカントル(カルヴィジウス、シャイン、T.ミヒャエル、J.S.バッハ)	水野克彦	同仁キリスト教会
第35回	2016.11	シュツツ、ブクステフーデ	水野克彦	同仁キリスト教会
第36回	2017.10	ドイツバロック(ローゼンミュラー・パッヘルベル・ブルーンズ等)	水野克彦	同仁キリスト教会
第37回	2018.10	18世紀オーストリアの教会音楽	水野克彦	同仁キリスト教会
第38回	2019.10	テレマン、ブクステフーデ	水野克彦	同仁キリスト教会
第39回	2021.10	J.S.バッハと息子たち(C.P.E.バッハ、J.C.F.バッハ)	水野克彦	同仁キリスト教会
第40回	2022.10	レオンハルト・レヒナー(ヨハネ受難曲ほか)	水野克彦	同仁キリスト教会

ご案内

次回演奏会のご案内

東京アマデウス合唱団 第42回定期演奏会

日 程：2024年10月 開催予定

会 場：同仁キリスト教会礼拝堂

演奏曲目：ハインリヒ・シュッツ

『カンツィオーネス・サクレ』より

ヤン・デスマス・ゼレンカ

『聖週間のためのレスポンソリア』より

合唱団員募集

当団では、少人数に適したルネサンスやバロック時代の宗教曲を積極的に取り上げて、他の合唱団ではあまり歌うことの無い、隠れた名曲を歌っています。見学ご希望の方は事務局までご連絡ください。

合唱団ホームページ <https://amadeus-chorus.sakuraweb.com/> 『団員募集』タブより専用フォームにて送信ください。



練習日 毎週水曜日 午後6時30分～9時
練習場所 同仁キリスト教会美登里幼稚園2F
指導者 水野克彦
会費 月額 5千円(学生半額)
入会金 1千円
このほか、楽譜代・演奏会参加費

【練習場所への交通案内】

- ・東京メトロ有楽町線護国寺駅6番出口より 徒歩6分
- ・JR目白駅から都バス「新宿西口行き」
目白台三丁目下車 徒歩3分



表紙写真：ドイツ リューベック 聖マリア教会

プログラム制作：平石幸枝

Tokyo Amadeus Chorus

Since 1980